



# 学校だより

令和元年10月29日  
佐渡市立七浦小学校  
学校だより No. 8

その過程を大切に

校長 山口 明美

朝、辺りの木々や遠くの山々がきれいに色付くのを見ながら通勤するのが楽しみです。七浦海岸を背にして帰路に着く時は、海に沈む夕陽が一日の労を労ってくれます。「秋の日は釣瓶落とし」ということわざにもあるように、今の時期は、あっという間に日が暮れます。その中で子どもたちは、これまでの学びを生かした活動の発表に向けて頑張っています。

さて、今、日本は空前のラグビーブームに湧いています。ワールドカップでの4強入りはかなわなかったものの、ひたむきにプレーする選手の姿は多くの人たちに勇気と感動を与えてくれました。その選手たちが試合後のインタビューで口にしたのが、「4年間、たくさんの犠牲を払ってきた」という言葉です。想像できないくらいのハードワークと多くの犠牲の上に、今の強いチームが作られたのだと思いました。

学校は今、文化祭の作品作りや学習発表、器楽練習の真っ最中中です。子どもたちが、1枚の絵を完成するまでにどれだけの時間を費やしたか、1つの工作完成までにどれだけの工夫と試行錯誤の繰り返しを行ってきたか、1つの発表を仕上げるためにどれだけの練習を積んできたかを重ねて、ご覧いただきたいと思います。

また、器楽合奏の発表曲「宇宙戦艦ヤマト」は、夏休み明けから昼休みになると、練習の音がずっと聞こえてきました。ラグビーの日本代表チームのスローガンである「ONE TEAM (ワンチーム)」と同じように、1曲を仕上げるためにみんなで心を一つにして演奏する姿は感動を与えてくれること間違いありません。

NHKの朝の連続ドラマ「朝が来た」の主題歌「365日の紙飛行機」に、「人生は紙飛行機 願い乗せて飛んで行くよ 風の中を力の限り ただ進むだけ **その距離をきそうより どう飛んだのか どこを飛んだのか それが一番大切なんだ**」という歌詞があります。いつか子どもたちと一緒に歌いたいと思っています。